地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2023
1月
No.104

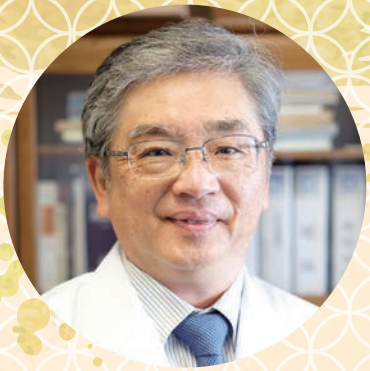
兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[巻　頭]

院長 新年のご挨拶

『当院における研究活動の取組』

- [AGMCニュース] 第8回AGMC地域医療懇話会を開催しました
- ぶらり～っと病院探訪 ～患者給食について～
- 病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について
- 不織布マスクの正しい着用について
- 患者の権利・義務憲章



兵庫県立尼崎総合医療センター
院長 平家 俊男

院長 新年のご挨拶

明けまして おめでと卯ございます

令和5年、新年のご挨拶を申し上げます

新型コロナウイルス感染症がまだまだ収まる状況にはありません。この間、地域の皆様から多大なるご支援を頂戴しながら、様々な困難に取り組んでくることができました。あらためて感謝申し上げます。これからも“with コロナ”下での地域を支える医療機関として歩みを進めていきます。

「兵庫県立尼崎総合医療センター（AGMC）」は開院7年が経過し、第2ステージの成長過程まっただ中です。継続して「目指すこと」3項目は、（1）本格的地域完結型医療の推進・充実！（2）医療のみならず、マネジメント・サービスでもトップの病院！（3）量から質へ！です。

【新型コロナウイルス感染症】

令和4年12月現在、第8波のまっただ中です。オミクロン株が主体になってから、新型コロナウイルス感染症そのものによる重症化は一定程度に収まっています。一方で、感染力が強いため、通常疾患と併発する症例が多くその対応に苦慮しています。政府としては、感染症分類2類から5類への移行も念頭にあるようですが、感染力が強いオミクロン株が院内で拡散することは回避する必要があり、ワクチン接種とともにマスク等の感染防止策の継続が必要です。病棟運用においては、一層の配慮と工夫が求められます。

量から質へ

高度専門医療の充実（特にがん診療の充実）、地域完結型医療の推進・充実、それを実現するためのPFM（patient-flow-management）の充実（外来・入院・退院・転院・在宅・介護全体を見渡す対応）、医療安全、職場環境、接遇等、様々な局面での一層の質的面での充実を進めていきます。

現在、北玄関に面した場所に、患者サポートセンターが建設中で、まもなく稼働を始めます。入院前、入院中、退院後の課題を、前もってワンストップで対応することにより、患者さん・ご家族にとって、安全で納得した医療を受けて頂きたいと思っています。また職員にとっても、協働が深化することにより働きやすい環境が整備できればと考えています。

併せて、足元も固めて

AGMCが誕生して7年。やっとAGMCは乳児期・幼児期を過ぎた段階にあるともいえます。しかし、私達はここでこの現状に甘んじていることはできません。

落ち着いて、「足元を固め、当たり前のことを確実に当たり前にやる」ことを継続します。

新型コロナウイルス感染症が、まだまだ世界中で蔓延しています。私たちの社会生活スタイルを根本から見直さざるを得ない、前代未聞の事態に陥っています。このような困難な状況を受け入れ、社会が必要とする医療を継続して提供できるよう、成長し続けていきます。

あらためて、地域、社会の皆様には、暖かいご支援とともに、叱咤、激励を宜しくお願い申し上げます。

令和5年 元旦　兵庫県立尼崎総合医療センター 院長　平家 俊男

当院における研究活動の取組

当院では、より質の高い医療を提供するため、診療だけでなく、医療従事者の「教育・臨床研究・自己研鑽」にも力を入れています。その中から、研究活動への取組をご紹介します。

臨床研究に必要な具体的手法を学ぶ

臨床研究は、人を対象として行われる医学研究で、病気の予防・診断・治療方法の改善や病気の解明、患者さんの生活の質の向上を目的として行われます。

臨床研究を行うにあたり、必要とされる研究手法を1年かけて学ぶ講座（京大医学部付属病院提供の臨床研究遠隔学習プログラム「CLiP Extension」）の受講支援を2018年より開始し、現在まで50名の医療従事者が受講しています。

競争的研究費等の獲得支援と適正な運営・管理

当院は文部科学大臣が指定する研究機関でもあり、研究費の獲得支援も積極的に行っています。2015年の開院以来、17件の研究費を獲得しており、現在は下記研究（順不同）を実施しています。

1	科研費基盤（C）	「早期関節リウマチ患者の主観的幸福度の推移－幸福度を臨床で活用する－」 ▶研究代表者 膠原病リウマチ内科長　蔭山 豪一
2	科研費 基盤（C）	「周産期における心理的トラウマに配慮したケアプロトコルの開発に関する研究」 ▶研究代表者 産婦人科 部長　田口 奈緒
3	科研費 基盤（C）	「揮発性麻酔薬は低酸素環境下のアストロサイトに対してどのような作用を有するか？」 ▶研究代表者 麻酔科 部長　田中 具治
4	科研費 基盤（C）	「専門看護師と認定看護師が提供する看護サービスのアウトカム評価指標開発」 ▶研究分担者 看護部　鷲田 幸一
5	科研費 若手研究	「鼻腔内におけるアセチルコリン受容体発現パターンの異種間での比較検証」 ▶研究代表者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医長　石川 正昭
6	AMED 難治性疾患実用化研究事業	「先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究」 ▶研究分担者 小児循環器内科長　坂﨑 尚徳
7	JST（RISTEX）	「トラウマへの気づきを高める“人－地域－社会”によるケアシステムの構築」 ▶協働実施者 小児科長　毎原 敏郎

[終了した研究]●科研費 3件（ER総合診療科、集中治療科）●AMED 4件（循環器内科、眼科、呼吸器内科）●RISTEX 1件（産婦人科）●厚生科研 2件（循環器内科、小児科）※この他にも助成金による研究や治験等も実施しています。

安心でより質の高い医療を目指して

診断や治療方法の進歩・発展のためには多くの研究が必要ですが、何より対象となる方の福利が最も重要です。当院では国が定めた倫理指針を遵守した上で、患者さんの同意のもと実施しています。

AGMC ニュース

第8回AGMC 地域医療懇話会を開催しました。

令和4年12月3日（土）に 第8回AGMC地域医療懇話会を Webにて開催しました。

コロナ禍のため残念ながら昨年に引き続きWebでの開催となりましたが、約70名の地域医療関係者の皆さまにご参加いただきました。例年どおり救命救急センターと地域医療連携センターの実績を報告し、当院の新たな取り組み（AGMC NOW）をご紹介しました。また今回はがん診療連携拠点病院として「がん診療連携拠点病院における歯科口腔外科の役割」について歯科口腔外科部長 東條 格先生に講演をしていただきました。

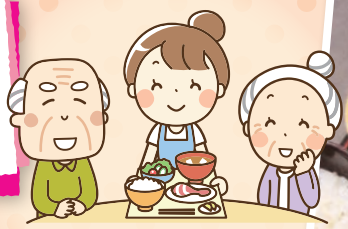
［AGMC NOW］

①経営企画部　「患者サポートセンター開設について」
②産 婦 人 科　「当院産婦人科における鏡視下手術の現状」
③乳 腺 外 科　「遺伝性腫瘍への取り組み　HBOCを中心に」
④循環器内科　「心房細動患者に対する経皮的左心耳閉鎖術の適応と実際」

Web開催ではありましたが、例年同様多数の地域医療関係者の皆さまにご参加いただき、改めて深謝申し上げます。来年こそは対面での地域医療懇話会の開催ができることを祈念しています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。

ぶらり～っと!!
病院探訪



～患者給食について～

今回は、当院の患者給食についてご紹介します。

当院では、毎食のお食事を院内の厨房で調理し患者さんのもとに提供しています。食事も治療の一部となるので、治療効果が高く、それでいておいしい給食を目指し日々工夫を行っています。そのひとつに、月1回程度実施している行事食や季節メニューがあります。旬の食材を使用したり、行事ならではのメニューを取り入れたりと、その時々の季節が感じられるような献立にしています。

1月には正月献立を提供しています。栗きんとんや伊達巻きなどおせち料理を意識した朝食や、鯛など正月ならではの食材を使用した献立としています。

入院生活の中で少しでも楽しみの一つや心の安らぎになればと、心を込めて提供しています。当院のホームページにも日々の献立をのせておりますので、ぜひ覗いてみてください。

① お正月（1月）

② 節分（2月）

③ 春メニュー（4月）

④ 七夕（7月・小児病棟おやつ）

⑤ クリスマス（12月）

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ掲示板

不織布マスクの正しい着用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。

入院中の患者さんにつきましても、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いしております。

なお、ウレタン、布マスクでは著しく感染防護効果が落ちることが知られていますので、入院時には、ウレタン、布マスクではなく、不織布マスクの準備をしていただきますようご理解、ご協力をお願いします。

理　念

高度・良質な医療による社会貢献

基本方針

■阪神地域の中核病院としての「高度専門・救急医療」
■患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
■救急・紹介を「断らない医療」
■住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
■医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」

患者の権利・義務憲章

患者・医療者共に協力して「患者の権利」と「患者の義務」を尊重し守る

【患者の権利】

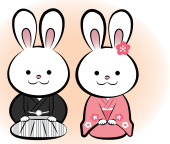
1. 公平に医療を受ける権利
   社会的な地位、疾病の種類、国籍、宗教などにより差別されることなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利
2. 一人の人間として、尊重される権利
   各々の人格、価値観が尊重され、患者・医療者が互いに協力して、医療をつくり上げていく権利
3. 納得医療の権利
   医療提供者から説明と情報提供を受ける権利／自分の意思で治療方法等を決定する権利／希望しない検査や治療を断る権利
4. セカンドオピニオンの権利
   複数の専門医等の意見を求める権利／他の医療機関に変わることもできる権利
5. 診療情報の提供を求め、自分の意見を述べる権利
6. プライバシー保護の権利
   診療の過程で得られた個人情報が守られる権利
7. 臨床研究についての権利
   目的・危険性について情報提供を受ける権利／参加するかどうかを決める権利／途中でも中止を求める権利／参加しなかった場合でも不利益を受けない権利

【患者の義務】

1. 医療者側に情報を知らせる義務、理解できるまで質問する義務
   家族の状況、既往歴、病状の変化、現在の症状等を、正確に知らせる義務／医師等の説明で、よく理解できない点を理解できるまで質問する義務
2. 医療に意欲を持って取り組む義務
   合意した検査・治療方針に自ら意欲をもって取り組む義務
3. 規則と指示を守る義務
   病院内の規則や指示を守り、他の患者に支障を与えない義務

編集後記

新年あけましておめでとうございます。2022年もコロナ禍での幕開けとなり、ロシアのウクライナ侵攻など悲しいニュースがありましたが、withコロナの生活が定着して全国旅行支援が再開したり、サッカーワールドカップでサムライブルーが活躍したりと胸が躍る締めくくりとなりましたね！2023年、今年はラグビーのワールドカップで日本がワンチームとなって「戦」う姿が楽しみです。AGMCでは今年患者サポートセンターの運用が開始となる予定です。これまで以上に患者さん1人1人に寄り添った医療の提供を目指して！AGMCは今年も全力で頑張ります！（T.A）



兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：https://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社